

第2 新しいくまもと創造に向けた基本方針 (健康福祉部関連の概要)

1 「新しいくまもと創造に向けた基本方針」策定の趣旨

「新しいくまもと創造に向けた基本方針」は、蒲島県政4期目の基本方針として、新型コロナウイルス感染症による危機を乗り越えるとともに、熊本地震と令和2年7月豪雨の2つの災害からの創造的復興を熊本の発展につなげ、地方創生を実現するため、重点的に推進する主な取組みの方向性を明らかにしたものです。

この基本方針のもと、「県民総幸福量の最大化」の考え方を継承しながら、国・市町村・企業・民間団体・県民の皆様と一丸となって取組みを進めます。そして、50年後、100年後を見据え、熊本の更なる発展につなげていきます。

健康福祉部としても、基本方針に基づき「熊本地震と令和2年7月豪雨からの創造的復興を両輪に、新型コロナウイルス感染症による社会の変容を見据え、持続可能な「新しいくまもと」の創造」ができるよう、各施策の取組みを推進します。

2 期間

令和5年度（2023年度）までとします。

新しいくまもと創造に向けた基本方針(構成図)

基本理念

熊本地震と令和2年7月豪雨からの創造的復興を両輪に、
新型コロナウイルス感染症による社会の変容を見据え、
持続可能な「新しいくまもと」を創造する。

SDGsの
理念に沿った
取り組みの推進

1 令和2年7月豪雨からの創造的復興

【取り組みの方向性】

愛する地域で誰もが安全・安心に住み続けられ、若者が“残り・集う”持続可能な地域の実現を目指すとともに、県内全域においても災害に強い郷土づくりに取り組む。

- 施策1 被災者・被災地域の1日も早い復旧・復興に向けた取り組み
- 施策2 県内全域で取り組む災害に強い郷土づくり

2 新型コロナウイルス感染症を踏まえた対応

【取り組みの方向性】

感染拡大防止と、大きな打撃を受けた県経済や県民生活の回復とのベストバランスを図るとともに、社会の変容を好機と捉え、熊本の更なる発展につなげる。

- 施策1 感染症対策の体制強化
- 施策2 持続可能な社会の実現
- 施策3 持続可能な経済活動の実現

3 熊本地震からの創造的復興

【取り組みの方向性】

熊本地震からの創造的復興の総仕上げに向け、残された課題を確実に解決し、熊本の更なる発展につなげる。

- 施策1 くらし・生活の再建
- 施策2 創造的復興の推進

4 将来に向けた地方創生の取り組み

【取り組みの方向性】

このような情勢下においても着実に進めていく必要のある施策に、優先順位を見極めながら取り組み、地方創生の実現につなげる。

- 施策1 次世代を担う人材の育成
- 施策2 若者の地元定着と人材育成
- 施策3 安全・安心な社会の実現
- 施策4 魅力ある地域づくり

球磨川流域における
緑の流域治水の推進

水俣病問題

3 「熊本地震と令和2年7月豪雨からの創造的復興を両輪に、新型コロナウイルス感染症による社会の変容を見据え、持続可能な「新しいくまもと」の創造」に向けた取組み

< 健康福祉部関連 >

1 令和2年7月豪雨からの創造的復興

【取組みの方向性】

令和2年（2020年）11月24日に策定した「令和2年7月豪雨からの復旧・復興プラン」に沿って、「生命・財産を守り安全・安心を確保しながら、球磨川流域の豊かな恵みを楽しむ」を基本理念とし、「愛する地域で誰もが安全・安心に住み続けられ、若者が“残り・集う”持続可能な地域の実現」を目指します。

今回の豪雨災害を契機として、県内全域においても災害に強い強度づくりに取り組めます。

施策1 被災者・被災地域の1日も早い復旧・復興に向けた取組み

新たな治水の方向性“緑の流域治水”をベースとして、「すまい・コミュニティの創造」、「なりわい（生業）・産業の再生と創出」、「災害に強い社会インフラ整備と安心して学べる拠点づくり」、「地域の魅力の向上と誇りの回復」の4つの柱に沿って、被災者・被災地域の1日も早い復旧・復興に向けて取り組みます。

2 新型コロナウイルス感染症を踏まえた対応

【取組みの方向性】

感染拡大防止と、大きな打撃を受けた県経済や県民生活の回復とのベストバランスを図るとともに、「新しい生活様式」、「ニューノーマル」といった社会の変容を好機と捉えて社会全体のデジタル化を推進するなど、熊本の更なる発展につなげます。

施策1 感染症対策の体制強化

熊本県リスクレベルの運用等による県民への警戒の呼び掛けや、熊本市と連携した感染の拡大防止に取り組むとともに、保健所の体制強化や、各種施設、学校等における感染防止対策の徹底、相談・受診・検査体制の充実、出産・子育て環境の整備等を推進します。

医療・福祉施設における感染拡大防止やクラスター対策に加え、病床確保、設備整備、遠隔医療推進、ワクチン接種体制構築など、医療提供体制の強化に取り組めます。

施策2 持続可能な社会の実現

生活困窮者やひとり親世帯等への支援強化に加え、子供の居場所づくりや介護予防、心のケア、偏見・差別や犯罪の防止等に取り組みます。

3 熊本地震からの創造的復興

【取組みの方向性】

熊本地震からの創造的復興の総仕上げに向け、残された課題を確実に解決し、熊本の更なる発展につなげます。

施策1 暮らし・生活の再建

住まいの再建を1日も早く、最後の一人まで実現するとともに、被災企業等に対して、販路回復や生産性向上等の取組みへの支援を行うなど、再建を目指す最後の1社までしっかりと支援します。

4 将来に向けた地方創生の取組み

【取組みの方向性】

豪雨災害、新型コロナウイルス感染症、熊本地震という喫緊の課題に対応する中でも、安全・安心で未来への夢と希望にあふれる持続可能な熊本の実現や、将来の発展につながる取組みが必要です。

このような情勢下においても着実に進めていく必要のある施策に、優先順位を見極めながら取組み、地方創生の実現につなげます。

施策2 若者の地元定着と人材育成

県内の経済団体等と高校が連携し、県内就職に向けた支援やインターンシップ等に取り組むほか、県内企業の魅力を高め、地元定着を促進します。

特に人材不足が深刻な医療・介護分野では、人材の確保・育成に加え、介護ロボットやICT機器等の導入による医療・介護従事者の負担軽減に取り組みます。

施策3 安全・安心な社会の実現

社会全体での結婚や子育ての機運醸成を図ることにより、子供を安心して産み、育てられる社会を創るとともに、いじめの未然防止等の子供の安全・安心を確保する取組みを強化します。

子供や高齢者、障がい者等が、自分らしく安心して住み慣れた地域で暮らせる社会の実現を目指し、健康寿命の延伸に向けた取組みや医療提供体制の確保、就労支援を行うとともに、消費者被害の未然防止、地域での見守りや交通事故の抑止、地域の公共交通手段の確保等に取り組み、安全・安心な地域づくりを推進します。

女性活躍の推進、犯罪被害者への支援策の充実、また同和問題（部落差別）やハンセン病問題に関わる偏見や差別の解消に向けた取組み等を進め、一人ひとりが尊重され、自分らしく暮らせる社会を創造します。

